

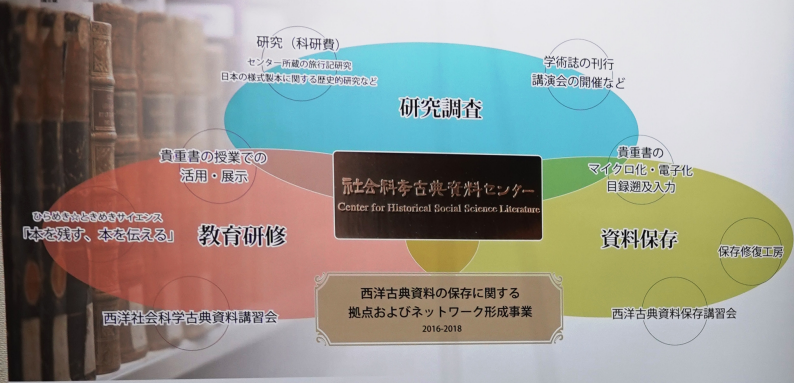
第20回図書館総合展大東一ゼンセン 東大・一橋・京大・東大  
2018年10月30日(水)~11月1日(木)

# 西洋古典資料の未来へつなぐ2018

「西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」の3年間  
一橋大学社会科学古典資料センター / 一橋大学附属図書館

## 社会科学古典資料センターの事業

一橋大学社会科学古典資料センターは、教員による調査研究部門を持つ西洋社会科学の古典資料を専門に収蔵する図書館です。1978年に発足し、今年2018年で設立40周年を迎えました。



## 保存の知識・技術の共有

西洋古典資料を使った研究のほか、保存についても研究を行い、研修等を通じて知識・技術の共有を図っています。

### 西洋社会科学古典資料講習会

- 図書館員、西洋社会科学研究者対象
- 西洋社会科学古典資料に関する高度な知識(書誌学、古典資料の保存管理、古典研究)を学ぶ講習会
- 1981年から38回開催
- 1156人参加 (2018年予定者を含む)



### 西洋古典資料保存講習会

- 図書館員、西洋古典資料研究者対象
- 資料の保存修復に関する実践的な知識・技術を学ぶ実習を中心とした講習会
- 2000年から19回開催
- 137人参加



### ひらめきと学びの場 KAKENHI 「本を残す、本を伝える」

- 中学生・高校生対象
- 書物の保存に関する特別授業
- 2012年から7回開催
- 76人参加 (2018年予定者を含む)



### 保存修復工房

- 1995年開設
- 4万点以上の西洋古典資料を調査、修復、保存処理
- 講習会、ひらめきと学びの場 KAKENHI 授業の実習指導等



## 西洋古典ほぞんネット

文部科学省共通政策課題「文化的・学術的資料の保存等」(平成28-30年度)採択  
「西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」の取り組み

### 課題

- 我が国の発展に寄与した学術文化遺産である西洋古典資料の現状
- 経年劣化の深刻化
- 専門人材の枯渇
- 保存技術継承の危機

### 事業の実施

- 中核的専門人材育成
- 保存状況調査
- 情報共有ネットワーク形成

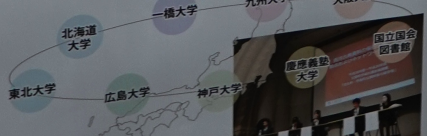
### 期待される効果

- 保存レベルの全国的な底上げ
- 学術文化遺産の維持
- 学問研究の進展

### 専門人材の育成

9機関9名の実務研修性を受け入れ、保存業務のOJTを実施、各地区の人材育成を先導する中核的存在となることを期待!

- 【実施】 ①修了生による自都庁・学内勉強会(保存カリキュラム作成、実習本レドット対照など)
- ②【予告】 東北地区西洋古典資料保存講習会(2018年11月16日東北大学と共催)



### ネットワーク形成

実務研修修了生のネットワーク形成  
シンポジウム等を通じた情報共有

- ①【イベント】 国際ワークショップ「貴重資料・デジタル化・キュレータの役割」2018年2月12日開催、46名参加
- ②【イベント】 「書物の保存管理」としてのデジタル化について—本の科学—2017年2月15日開催、104名参加
- ③【イベント】 「貴重資料の保存管理」—本の科学—2017年2月22日開催、130名参加
- ④【予告】 国際シンポジウム「西洋貴重書を守る、活かす」2018年12月7日開催

「貴重資料のデジタル化」プロジェクト  
「貴重資料のデジタル化」プロジェクト  
「貴重資料のデジタル化」プロジェクト

**プロジェクト**  
「貴重資料のデジタル化」プロジェクト  
「貴重資料のデジタル化」プロジェクト

2018年11月20日、12月7日  
11月20日(木) 13:00-17:00  
12月7日(木) 13:00-17:00

会場: 一橋大学附属図書館  
〒278-8581 東京都荒川区西日暮里5-1-1

西洋貴重書を守る、活かす

「西洋貴重書を守る、活かす」プロジェクト  
「西洋貴重書を守る、活かす」プロジェクト

2018.12.7  
13:00-17:00  
会場: 一橋大学附属図書館  
〒278-8581 東京都荒川区西日暮里5-1-1

Take free

「西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」の取り組み

「西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」の取り組み

「西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」の取り組み

